

ノアの爽風



誕生日会



目指せ！大漁(´ー´)ノ



お金が釣れた(*_*!)?



黒ひげ危機一髪!! ドキドキ(´_`)

無事救出できるか



そ〜れ〜(´ー´)ノ

風船バレー♥アタック!!

アタック!!



風船(´_`)いっぱいキレイ(*^▽^*)



発射!!

ドキドキ(´_`)ワクワク(*_*)

～目次～

- 病院短信『COVID-19の今後の課題』
医師 黒川 崙臣
- 看護日誌
福田 愛子
- 介護だより
島崎 洋
- 日常の一コマ
堀江 寛子

5月の予定

- ◆ 誕生日会 各病棟にて
1病棟: 12日(水) 14:30~
2病棟: 13日(木) 14:00~
3病棟: 14日(金) 14:00~
- ◆ 院庭ハイク 院庭にて



今日のナナ

ナナのお散歩(*^*)で〜す♥
大好きなお花を觀賞して♥
タンポポのお飾り(*^▽^*)/
可愛いでしょ(*。^*)



ナナお飾り

病院短信

医師 黒川 胤臣

『COVID-19の今後の課題』

COVID-19がワクチン効果の影響か、や
つと終息に近づいてきた頃で、同時に急に暖か
くなって、例年よりも早い桜開花宣言も出まし
た。マスク着用も個人の判断に任せるとい
府の通達も出て、ほぼ通常の状態に戻ったよう
になりました。

これで一件落着きと言いたいところですが、C
OVID-19はどうやらそんなに甘くはない
ような気がしています。不安を煽るつもりはあ
りませんが、その理由は未だに決め手となる治
療法は出来ていないことも一因なのです。世界
中で研究されているので、そのうちには良い治
療法が出来ることを期待しているのですが、残
念ながら未だ不透明なようです。再燃しない事
を願うばかりです。

さらに気がかりなことは、後遺症問題もこれ
からの重要な課題となる可能性も残っている
ようで、やはり各方面から検討されています
が、決定的な治療法の報告は見出されていま
いが現状で、これも待ち望まれています。

しかしながら、臨床の現場ではぼんやりと待
っているわけにはいかないので、後遺症による
多彩な症状には対症療法として、古典的とはい
え、歴史的エビデンスのある安全な東洋医学的
アプローチを利用して、できる限りコントロー
ルする必要があります。イギリスのオックスフォード大学の最近の



研究では、Long COVIDの神経学的後遺
症によるけいれん発作やてんかん発作の出現
率が、インフルエンザよりも高いと報告されて
います。(Neurology. 11月16日掲載、
国際医学短信2023年3月7日配信)

私も経験例は少ないですが、Long CO
VIDの味覚・嗅覚障害と食思不振・倦怠感・
うつ傾向・意欲低下のある症例では、東洋医学
的アプローチを利用して比較的短期間に、回復
できた症例を経験したので報告しました。(漢
方と最新治療、32(1):55-59, 2023)

その後も類似の症状の数例を経験して、やは
り東洋医学的アプローチにて、いずれも2週間
以内に回復を確認できました。症例はまだ少な
いですが、出来る限り早期に対処しながら経
過観察することが重要ではないかと考えられ
ます。COVID-19は終息に向かっているといま
すが、今後は症状が軽く済んだと安心した例で
も、油断しないで多彩な後遺症症状にも注意す
る必要があります。特に、後遺症のBra
in Fogは将来的に認知症の危険度が高ま
るかと危惧しています。気分不快や体調不良が
気になるようなときには早期の対処を心がけ
ることをお勧めしたいです。



日常のーコマ



今日は3病棟の光子さん(87歳)のーコマです。
光子さんは富山県出身で5人姉弟の長女さんです。
22歳の時、お見合い結婚されて、その後上京され
ましたが子供には恵まれず、光子さんは会社勤務を
定年まで続けられました。定年後は旅行など積極的
に出かけ余暇を楽しまれていたそうです。



平成27年(79歳)、光子さんは心臓の痛みを訴え手術(大
動脈弁置換術)を受けました。手術後のリハビリ中にご主人
が亡くなり、光子さんにも認知症の症状が出はじめ在宅生活
が困難となり、有料老人ホームに入居することになりました。その直後に総胆管結石・胆のう炎の手術
を行い、大きな環境の変化に興奮したり、不眠状態が続き一晩中大声で騒ぐ・暴言・暴力なども認めら
れ、平成30年精神科病院に入院となりました。そこでの検査で嗜銀顆粒性(しぎんかりゅうせい)認知
症(記憶障害で発症するが、頑固・被害妄想・易怒性・暴力行為などの症状)と診断され、2ヵ月間
の入院治療を行いました。その後、退院され老人ホームに戻りましたが、対応困難となり平成31年
3月に当院にご入院されました。



入院直後はやはり不眠・不穏の症状が残っており、その時はお茶を出
して光子さんに若い頃の話や旅行に行った時の話、飼猫の「チチち
ゃん」の話をしてもらおうと落ち着きを取り戻し、不眠や不穏と言った
症状も徐々に無くなっていきました。ご入院から4年が経った今で
は、レクリエーションや体操に積極的に参加され、特にカラオケが大
好きでスタッフと一緒に歌っています。また、「チチちゃん」の話を
している時に見せてくれる笑顔がとても素敵です。これからもたくさ
ん笑顔がみられるよう、頑張っていきます。

3病棟 看護主任 堀江 寛子

看護日誌

3病棟 看護師 福田 愛子

入職して半年が経ちました。3月は病棟内でインフルエンザが流行し対応に追われ
忙しい日もありました。そんな中、病棟から見える桜の花が次々に開花し、きれい
なピンク色が増えていくのを見ているだけで心が癒されました。これからの季節は
いろいろな花が咲くので散歩も楽しいですね。おすすめは狭山市の
智光山公園です。これからバラや菖蒲・紫陽花も咲くので開花時期
に合わせて散歩ついでに花も楽しめます。4月下旬から5月上旬に
かけて、珍しいハンカチの木が開花しますので、匂いや花の形を楽
しんでみてください。



介護だより

1病棟 介護福祉士 島崎 洋

3月に野球のWBCが行われ、日本が見事優勝を果たしました。準決勝と決勝
がアメリカで開催されたこともあり、放送が朝で患者さんもスタッフも一緒にな
って病棟で盛り上がっていました。そんな人気に乗じて、
5月の誕生日会ではホームラン競争を予定しております。
思いっきりフルスイングしてもらい、少年少女時代を思い
出していただこうと思います。

